

新富町 議会だより

122号

2024年4月



新富町立富田中学校卒業式

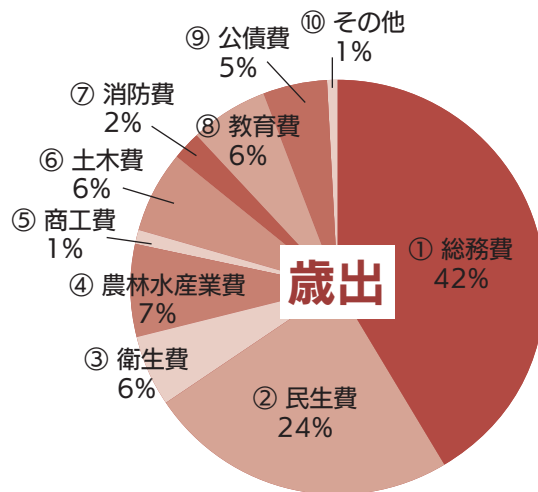
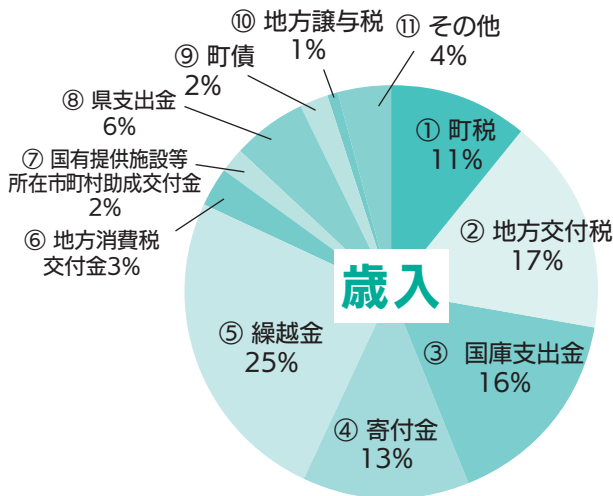


3月定例会

- 表紙「令和5年度卒業証書授与式」
- 定例会報告①（令和6年度予算）
- 一般質問（7人が登壇）
- 定例会報告②（令和5年度補正予算）
- 議案等の審議結果
- 行政調査報告
- 特集：議員と語ろう会
- ピックアップ（式典の裏側）

令和6年新富町議会3月定例会報告①

令和6年度一般会計予算を可決



136億 3,736万円 ※対前年比4.4%増

令和6年度特別会計予算を可決

国民健康保険特別会計予算 ※前年比12.04%増

21億7,404万7千円

介護保険特別会計予算(保健事業勘定)予算 ※前年比0.27%減

16億3,500万8千円

介護保険特別会計予算(介護サービス事業勘定)予算 ※前年比1,153万4千円増

1,691万7千円

後期高齢者医療特別会計予算 ※前年比4.16%増

4億8,972万5千円

土地取得特別会計予算

2億4,715万1千円

水道事業会計予算(収益的収入及び支出の予定額)

収入3億1,956万円 支出3億1,046万8千円

総務産業常任委員会での審査

新富町の令和6年度一般会計予算は136億3,736万円で、前年度比4.4%増。歳入では町税等が64億3,692万円で、対前年度比5.3%増の47.2%を占め、特定財源も72億4,400万円で増加している。歳入は寄附金の減少を見込み、歳出は義務的経費、行政経費が増加している。取り組み事業では洪水対策や健康福祉、教育などに予算が計上された。水道事業予算では、配水管及び施設改修の費用が計上された。今後、配水管や施設等の耐震化に向け一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団との経営統合も視野に入れた経営戦略等の見直しをしていくとの説明があった。さらに、各種条例の制定・改正・廃止を審議したほか、指定管理者として係船組合は5年間、商工会や農業協同組合は3年間指定された。

文教厚生常任委員会での審査

令和6年度の新富町国民健康保険特別会計予算は21億7,404万7千円で前年度比12.04%増。歳入は、予算の71.7%を占める保険給付費等交付金に県が算定した見込み額のほか一般会計繰越金が計上。歳出予算の70.6%を占める保険給付費及び25.7%を占める国民健康保険事業費納付金は、医療費の見込額等が計上されたほか、特定健康診査等の費用が計上。国民健康保険税の負担増とならないよう医療費抑制や早期発見のため、健診未受診者の受診率向上に向け、引き続き努力をお願いした。令和6年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算は歳入歳出予算それぞれ対前年度比0.27%減の16億3,500万8千円が計上、新富町後期高齢者医療特別会計予算は対前年度比41.6%増の4億8,972万5千円が計上された。

令和6年度事業

※主な取り組み事業一覧

コミュニティバス
購入事業(継続)

29,214千円

EVバス購入費用



三納代北地区直売所
建設事業(継続)

3億66,300千円

外構工事費



富田浜緊急避難施設
整備事業(新規)

15,050千円

測量設計業務委託



富田浜公園
改修事業(新規)

1億25,700千円

国スポに向けた改修工事



新富町チャレンジフィールド
整備事業(新規)

7,705千円

敷地内コンテナ施設整備のための補助金



スマートICほか 7路線の
整備・改良事業(継続)

1億73,744千円



スマートIC完成イメージ



でぐち きじゅうろう
出口 喜重郎議員
教育長

小・中学校のトイレ
洋式化は

令和6年度
富田小から始める

問 近年、各家庭のトイレ洋式化が進み、学校で用を足しづらい児童が増加傾向にあると伺っている。小・中学校のトイレ洋式化の計画は。

教育長 各学校の設置割合は、富田小25%、新田小32%、上新田小81%、富田中80%、新田中46%、上新田中67%。計画では、令和6年度に富田小のトイレ12ヶ所の洋式化を行ない、その後は状況を見ながら計画的に増やしていく。

問 洋式化の遅れによる児童への影響は。

教育長 各学校に確認しているが、児童生徒への影響があったという報告は受けていない。



狭い通学路の危険な側溝

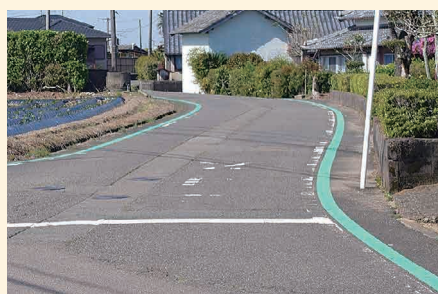
問 歩行帯の一部に側溝のフタの無い部分がある。安全確保のためのフタの設置の検討は。

町長 通学路部分にフタの無い側溝があることは認識している。フタを設置できる規格となっていないため、早急な対応は難しい。安全確保は重要であると理解しているので、今後検討していく。

町道越馬場～野中線の
安全対策は



完全に消えた白線



視認しやすいグリーンベルト

問 町道越馬場～野中線は、白線が消えかかっている。朝夕の通学時は、児童が危険な状態である。白線の引き直しは。

町長 白線の一部消えかかっている区間があることは確認している。歩行者等の安全確保のためにも早急な対応に努める。

「S!あぶ事業について」

問 S!あぶ事業の目的と成果は。

町長 消費喚起事業として、県のプレミアム付商品券発行事業補助金、物価高騰対策プレミアム付商品券等発行事業費補助金を活用して8千821万円の規模で実施した。新規来店者の増加、クーポン券利用による客単価の増加、「S!あぶ」会員数も4万2千人に達し、一定の事業効果があった。

問 スマホが使えない高齢者等への配慮は。

町長 S!あぶのPRや様々な機会を通じて消費喚起に努めた。また、75歳以上の方に一律5,000円を配布し、若者との均衡を図った。



まつうら みお
松浦 美緒議員
町長

保護を求める女性の支援は

民間と連携し、安全を確保する

問 県の現状を伺う。

町長 DV等の困難を抱える女性の支援に関して一般的に本人等からの相談があった場合、宮崎県女性相談所へつなぐ。緊急保護を要する場合は「一時保護所」にておおむね2週間ほど保護する。その後、問題の解決が見られない場合は「女性保護施設県立きりしま寮」において引き続き保護を行う。昨年一時保護となつた件数は実人数で相談者本人が21名、子ども等の同伴者が14名の計35名。その後の「きりしま寮」への入所は0名である。

問 町の現状を伺う。

町長 昨年度、DV被害による相談が1件あった。しかし町内の宿泊施設のご厚意で避難でき、県女性相談所へつなぐまでに

製ゴミ袋の採用などがある。

問 町民・事業者に向けた具体的な取り組みは。

町長 町民向けには、食品ロス削減や節電対策等に関するパンフレット等の配布や、小中学生に対して教育委員会と連携し、カーボンプリントラルに関する出前講座等の開催を検討している。事業者向けには、一例であるがバイオガスプラントの推進について関係者と共に勉強会等を行っている。

ゼロカーボンシティ 宣言について

問 町の取り組みを伺う。

町長 ①庁舎や学校・体育館等の照明のLED化②公用車・コミュニティバスにおけるEV車の導入③バイオマスプラスチック



導入されたEVバスと充電設備

公共施設予約システム について

問 予約システム導入から1年が経過したが、利用者の反応は。

教育長 自宅から予約ができ、支払いも多様化していて、利用しやすくなった等の声をいただいている。

問 配布されている説明資料の記載内容に変更があった時はどのように周知されるのか。

教育長 今後精査しホームページ等で周知したい。



いつでもどこでも簡単予約



みうら ちひろ 議員
三浦 千尋 町長

人口減少への「あらがい」は

1万5千人確保へ

問 止まらない人口減少。町長の確保したい人口は。

町長 1万5千人と考える。

問 土地利用計画は、町政・人口対策の一丁目一番地では。

町長 都市計画、田園環境整備マスタープランで示し、個々の事業化の都度進める。

問 「特定集落」指定地域の設定は、農振地域の宅地確保の有効な手段と考えるが。

町長 現行の制度でも高速道路出入口や一定の集落形成している地域に接続するなど、条件に合致の場合は農振除外や農地転用が可能のため、対象地域を調査研究し現行制度との整合性を図り検討したい。

教育問題について

問 上新田校区は児童数確保が急務。学校教育の特性による児童生徒確保の観点から、5ラウンド制度やイエナプランは極めて有効な手段と考えるが。

教育長 5ラウンド推進は現在町長と検討中。地域学習に力を入れながら、イエナプランについては一貫校としてグループ作りを考察中である。

問 給付型奨学金について伺う。

教育長 現在利用者の声を受け、既存の貸与型上限を増額。しかし、現在の不安定な社会状況の中、地元居住・就職など条件に、実施可能な給付型奨学金の調査・検討を重ねる。

上新田小跡地活用について

問 研究計画の進捗について伺う。

町長 上新田公民館移設の他は事業者の事業用地として、活用予定である。

問 地域課題、住民ニーズをヒントに全国的な先進事例である多世代共生型施設を提案する。

町長 これまで複数の企業から相談があったが合意に至っていない。地域の意見を伺いながら検討したい。



開発が待たれる上新田小学校跡地

郷土文化継承について

問 諸先輩から受け継がれた郷土文化（神楽など）の継承は、地域の絆・融和、郷土愛醸成に意義あるものと考えているが。

町長 神楽、棒踊りなどの文化継承のために、基金条例制定したことは覚悟の表れである。

教育長 社会形成の要素の一つと認識。「子どもたちが帰って来たくなる町」につながる。関係者や関係機関と検証・協議を続ける。



新富町の郷土文化



は た の お さ む
羽 田 野 治 議 員
教 育 長

教育大綱の見直しは

3月中に策定 ホームページに掲載予定

民に示すように努める。

コミュニティスクールの 取り組みについて

問 コミュニティスクールの運営状況と1年目の評価について伺う。

教育長 今年度は、各学校で3回程度の協議会を開催し、学校と地域の信頼関係が深まった。しかし、諸問題に対して熟議まで至らないこともあり、今後の課題として取り組んでいく。

問 前は、第5次長期総合計画に合わせて見直しを行なっている。すでに第6次長期総合計画の公示から2年が経過しているが、なぜこのタイミングとなったのか伺う。

教育長

着任時には既に新たな大綱が策定されており、令和2年度に令和5年度までの教育振興計画を策定している。現在作成しているのは、令和6年度から8年度までの計画である。今後はホームページに掲載し町



問 家庭の事情で解錠前に登校する児童の見守りや、消防団による防災の授業など取り組みはないか。

教育長 貴重なご意見として今後検討していく。



解錠を待つ児童たち

部活動の地域移行 について

問 中学校部活動の地域移行に向けたスケジュールについて伺う。

教育長 令和7年度までに地域移行が進められるように、今年度、検討委員会を立上げおり、本町のあり方を検討していく。

サッカースタジアムネーミング ライツ契約について

問 「取り組み」を対価としたユニリーバとの契約であったが、町にどのようなメリットがあったのか伺う。

町長 ユニスタの愛称で新富町の知名度アップに繋がった。加えて同社社員によるキャリア教育、限定商材売上の一部寄付、スタジアム来場者や町のイベントへの商品提供など、3年間の累計で1,000万円程度に換算される。



契約満了したユニリーバスタジアム



いまむら ゆきののぶ
今村 行 議員
町長

住宅倒壊から命を守る 減災対策は

木造住宅耐震化を促す

問 町民の命を守る木造住宅耐震化率は。

町長 町内の木造戸建て住宅は約75%と推計している。

問 町の耐震化への対応は。

町長 平成18年度から耐震診断、平成25年度からは耐震改修の助成を実施。令和2年度からは対象住宅の所有者にダイレクトメールを送付し、耐震化を促す取り組みを行っており、今までに105戸の耐震診断を実施している。

問 耐震診断の経費と自己負担額はどの位か。

町長 今は、経費が13万6千円で、自己負担は無いので都市建設課に相談してほしい。

問 県内の耐震化率は84%で、令和7年度末の目標値を90%に設定している。本町の目標値と対応は。

町長 耐震化率の向上につながるよう周知に努める。目標値90%を目指して町民へ耐震化を促していく。

生活に大事な水の確保は

問 本町の水道管の耐震適合率と対応は。

町長 基幹管路において令和4年度末で21・8%であり、老朽化した管を耐震適合管へと更新工事を進める。

問 災害時でも、安心な水を供給するための今後の対応は。

町長 これまで主に浄水場等の水道施設を更新し、耐震化を進めてきた。今後は、国の補助金等も活用しながら、大口径の水道管の更新を進め、水道施設の耐震化に努める。



大切な水

新田原基地の重要度

について

問 基地開設以来、様々な態様変更が行われ、来年度からはF35Bが6機配備され順次増強される。令和8年度には1個目の飛行隊が編成され、以降2個目の飛行隊の機種更新が計画されている。新田原基地の重要度が高まっているが、町長の認識は。

町長 日本国を守るうえで大変重要な基地と認識している。これまでも大きな負担を受けている周辺住民に対して、不安解消や理解を得るために、安心・安全対策や騒音対策を含めた基地対策について、迅速な情報提供をはじめとして、丁寧な対応と十分な説明が必要と考えている。また住宅防音工事の告示後から、現在よりも、より良い条件整備となるよう、国へ粘り強く交渉していく。



6機配備予定のF35B



いしざき しゅんじ
石崎 俊二議員
町長

分別できていない
ゴミの対策は

より周知が行き届くよう方法等
について早急に検討したい

問 家庭ゴミの回収について、町民または回収業者から困りごとなどの問い合わせはないか。またその内容は。

町長 ゴミ集積ボックスを管理している地区からの問い合わせとして、最近は特に地区外からのゴミ出しに関することや、分別されていないために収集されないゴミに関するものが多くなっている。

問 地区の管理によるゴミ集積ボックスでは、あまり見かけないが、それ以外のところでは、ルールが守られていないゴミの出し方で非常に困っている現状がある。そういったゴミの出し方について町としての対応策は。

町長 基本的には、ゴミ集積

ボックスを管理している地区等で対応していただくものと認識しているが、ゴミの中身などから地区外の方と特定できるものに関しては、担当課が対応している。またルールについて、より周知が行き届く方法等について早急に検討していきたい。



未分別ゴミに苦慮する管理者



アプリの進化に期待！

しんとみ生活充実アプリ
「S!あぶ」について

問 クーポンを利用する事業者の片寄りについてはどう考えるか。

町長 今回の目的は、「消費喚起」を大きく掲げている。参加事業者全体に行き渡らせるのが一番いいことではあるが、その対策として、今後は商工会と議論をしていかなければならないと思っている。このようなクーポン事業をすると、必ずこういった状況になると予測されるので、大変難しい問題だと認識している。

町立学校の現状について

問 国が進めたGIGAスクール構想の現状と課題は。

教育長 現在、全ての学年でタブレット端末を活用した授業に取り組みながら「しんとみスタイル」を実践している。デジタル化された授業により、学習意欲や理解力はもちろん、教師の授業力向上にもつながっており、確実に成果が表れている。課題としては、機器の不具合等が発生した場合に、授業に支障が出てしまうことがあるとの報告があった。





いびかねひさ
議員 兼久
町長

新富町へF35の整備拠点を誘致できないか

実現性を考慮し
研究を進める

新田原基地関連について

問 来年度以降の防音工事の進展は。

町長 国に対して速やかに防音工事がなされるように要望を続ける。国は居室以外の廊下・台所や併設事務所・店舗を含め全体で防音工事を進めるための調査検討を始めると聞いている。

問 要望活動を継続する必要があるが、その焦点は。

町長 騒音区域の見直しに関する調整、安心安全、周辺自治体の活性化対策等に対する要望、及び調整交付金の増額等を議会と協力して実施したい。

防災危機管理について

問 能登半島地震に対する町の対応は。

町長 本町職員で旅行等のため当該地域にいる可能性がある職員の安全確認を行った。

問 新富町地域防災計画の見直しは。

町長 能登半島地震の教訓を踏まえ、避難行動計画や応急復旧計画等の見直しが必要と考えている。



被害復旧工事

問 来年度の二ツ瀬川の樋門管理は。

町長 二ツ瀬川に接続している樋門管理は県が実施する。鬼付女川及び日置川に接続する樋門は町が受託する。

問 畔焼きによる延焼事案と今後の対応は。

町長 本町では農業施設や作物への延焼、山林火災、交通事故などが発生。近隣市町では家屋や工作物への延焼、人身事故も発生している。今後は適切な人員配置のお願いと、各種注意報が発令された場合の延期の要請などを東見湯消防組合と連携し対応する。

市町村設置型合併浄化槽について

問 一年間の検討の状況は。

町長 公共浄化槽に取り組んでいる県外の自治体の研修を行い導入の手法等、課題について情報を得た。

問 今後の進め方は。

町長 引き続き情報収集に努め町に有益な手法の検討を進める。

マルシヨク跡地の再利用は

問 12月以降町民に知らせるべき進展はあるか。

町長 昨年末にサンリブ株式会社から、スーパー運営を希望する事業者と協議を行っていることを伺った。2月末に契約が成立し、「業務スーパー」が5月初旬に営業することとなった。町の賑わいや町民の生活に資するものと期待している。



改築中の業務スーパー

令和6年新富町議会3月定例会報告②

令和5年度補正予算を可決

一般会計予算、特別会計

一般会計補正予算(第13回)

※事業費確定に伴う調整

既定の総額から2億9,565万1千円を減額

総額147億7,625万4千円

国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

※療養諸費、高額医療費による給付増

既定の予算の総額に9,355万3千円を増額

22億2,668万8千円

介護保険特別会計予算(保健事業勘定)予算(第4回)

※交付額決定等による調整

既定の予算の総額から2,936万1千円を減額

17億144万8千円

介護保険特別会計予算(介護サービス事業勘定)予算(第4回)

※事業費確定に伴う調整

既定の予算の総額に271万1千円を増額

1,292万2千円

後期高齢者医療特別会計予算(第4回)

※広域連合通知に基づく調整

規定の予算の総額から2,063万2千円を減額

4億5,505万8千円

専決処分の報告(1件)

三納代北地区直売所建設工事請負変更契約の締結について

駐車場の位置変更にとまなう既存の擁壁撤去、給水・電気の引き込み位置変更などによる請負額の増加で445万7,445円を増額

変更後の契約を **5億4,785万7,445円で締結**

条例制定・改正・廃止(23件)

新富町草地畜産基盤整備事業負担金徴収条例

新富町地域包括支援センター運営基金条例 ほか2件

新富町企業立地促進条例の一部を改正する条例

新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

新富町ひとり親の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

新富町火入れに関する条例の一部を改正する条例

ほか14件 廃止1件

令和6年度3月定例会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第5号	令和5年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第6号	令和5年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第7号	令和5年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第8号	令和5年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第9号	令和5年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第10号	令和6年度新富町一般会計予算	可決	全員
議案第11号	令和6年度新富町国民健康保険特別会計予算	可決	全員
議案第12号	令和6年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	全員
議案第13号	令和6年度新富町後期高齢者医療特別会計予算	可決	全員
議案第14号	令和6年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計予算	可決	全員
議案第15号	令和6年度新富町土地取得特別会計予算	可決	全員
議案第16号	令和6年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	可決	全員
議案第17号	令和6年度新富町水道事業会計予算	可決	全員
議案第18号	新富町地域包括支援センター運営基金条例	可決	全員
議案第19号	新富町草地畜産基盤整備事業負担金徴収条例	可決	全員
議案第20号	新富町国営一ツ瀬川地区土地改良事業基金条例	可決	全員
議案第21号	新富町無形民俗文化財等保存継承事業基金条例	可決	全員
議案第22号	町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第23号	新富町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第24号	新富町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	可決	全員
議案第25号	新富町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第26号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第27号	新富町企業立地促進条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第28号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第29号	新富町ひとり親の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第30号	新富町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第31号	新富町介護保険給付費準備基金条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第32号	新富町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第33号	新富町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第34号	新富町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第35号	新富町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第36号	新富町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第37号	議新富町新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給基金条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第38号	新富町火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第39号	新富町水道事業給水条例等の一部を改正する条例	可決	全員
議案第40号	新富町基金条例の廃止に関する条例	可決	全員
議案第41~49号	財産の無償譲渡について(町内9ヶ所の児童プール)	可決	全員
議案第50号	公の施設の指定管理者の指定について(富田浜入江遊漁船係留場)	可決	全員
議案第51号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町チャレンジショップ)	可決	全員
議案第52号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町農畜産物直売所)	可決	全員
議案第53号	国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託の廃止に関する協議について	可決	全員
報告第1号	専決処分の報告について(令和5年度農山漁村振興交付金 新富町三納代北地区直売所建設工事請負変更契約の締結について)	—	—

基地対策特別委員会



東京都瑞穂町には米軍横田基地が所在しており、米軍基地と自衛隊基地との違いはあるが、本町と同様に騒音問題等多くの課題があり、防衛省の交付金事業を活用した多くのハード事業のほか、「安全安心に暮らせる地域社会の実現」「町立学校の教育向上に資すること」を目的とした基金を創設し、潤いと活力を実感できるまちづくりを推進していることの説明を受け、意見交換を行なった。翌日の防衛省地方協力局との意見交換では、地域社会協力総括課長から、令和6年度調整交付金の増額予算確保のほか、私たちが長年要望してきた廊下・台所等や併設事務所・店舗も含め、住宅の外郭全体で防音工事を行うための工法の検討調査を実施するなど、これまでにない前向きな回答を得た。また、十文字地区の用地取得や2個目のF-35B飛行隊の配備についても、町と協議しながら丁寧に説明等を行うよう対応していくとの回答を得た。

議会広報特別委員会

添田町、宇美町の広報紙は編集期間が定例会終了後約50日と発行までに長い時間をかけていたが、住民の関心を高めるため、住民コメントを多く掲載したり、大きな文字やルビを使うなど幅広い世代を意識した編集を行っていた。編集作業は経験者と2人一組になり、委員全員で分担し効率化。研修では、テーブルトークで実際の編集工程を確認しながら意見交換を行い、発行までの流れを体感できたことは大変有意義であった。YouTube配信は既存の標準アプリを使用しており、ローコストではあるが、事務局職員の負担増と既製アプリ活用のため、ネット接続に関するセキュリティポリシーを考慮する必要がある。



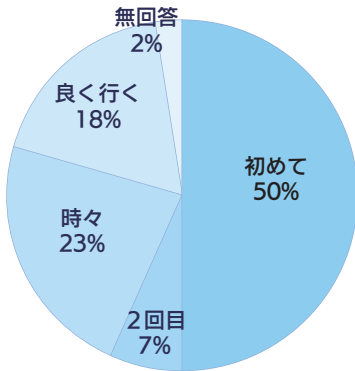
議会活性化特別委員会



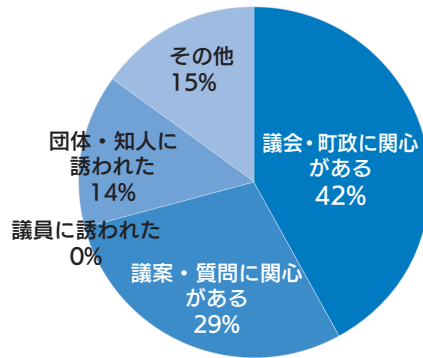
議会では、これまでの「議会報告会」から「議員と語ろう会」へとシフトした。全国的にもグループワーク形態へと変化している。今回は、同じような取組みを行っている二つの議会を訪問し、意見交換を行なった。志免町議会では、令和5年度から「議員と語る会」を実施。議員紹介・議会活動VTR、告知ポスターも作成。議員全員にファシリテーター（会議の進行役）研修も実施するなど、参考にしたいところが多くあった。次に太宰府市議会では、参加対象者、開催曜日、時間帯などの検討を重ねて常に進化した内容で開催していた。また大学が多く所在しており、学生との意見交換も活発に行っていたところが印象的であった。両議会とともに有意義な意見交換ができた。今後の「議員と語ろう会」に取り入れていきたいと思う。

議会傍聴者アンケート (令和5年度総数44件)

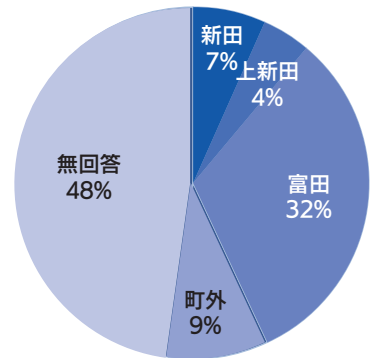
傍聴頻度



傍聴目的・理由 ※複数回答

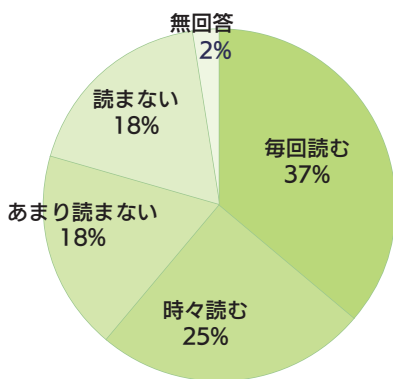


地域

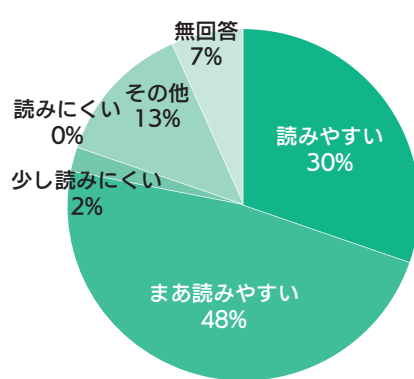


傍聴に初めて来られた方の多くは研修や誘われたと回答。半数以上の方は議会に対する関心を示されている。年間を通して傍聴が少ないため、多くの町民に議会を身近に感じてもらえるような取り組みが必要。

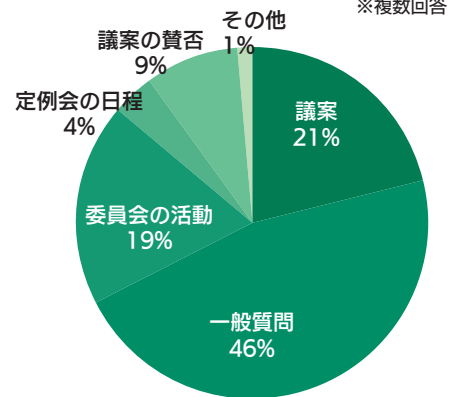
議会だよりを読みますか



読みやすさは



議会のどんな情報をしりたいか ※複数回答



議会だよりに関する評価はおおむね良好ではあるが、読まない・あまり読まないと答えた方が36%で、町民にとって興味や関心のある記事を集めるなど、編集の工夫が必要。

アンケートでは、多くの感想や意見などの声が寄せられた。初めて傍聴された方の中には、勉強になった次回も傍聴したい、広報では分からない情報を得られ良かった、友達を傍聴に誘いたいなど前向きな感想が寄せられた。意見としては、議員の質問スキルの向上が必要、ハラスメント等の研修は行なっているのか、基地問題に対して真摯に取り組んでいるのか、大規模災害等の非常時の備えは十分なのかといった声が寄せられた。要望として最も多かったのは、議会のネット配信を望む声であった。現在準備を進めているが、配信を急ぐ必要がある。

議員発議 (令和6年3月15日発議第1号)

令和6年3月定例会において、「新富町議会議員政治倫理条例」を定め、ハラスメント防止規程を制定した。

第3回「議員と語るう会」を 開催しました

君たちの将来の夢をきかせて

新富町のいいところは？

「こうしてほしい」というのはないかな？

未来の新富町はどうなっていてほしい？

第3回 議員と語るう会

令和5年12月26日 新富町総合交流センターきらり大会議室にて

〇まずは将来の夢を語り合いました



海外で働きたい学校の先生、イラストレーター、ダンサー…etc

夢は戦闘機のパイロット



本を出版したいなあ

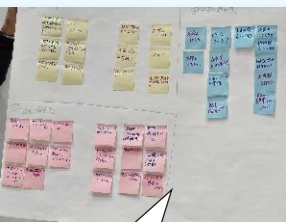
スポーツで活躍したいプロ野球選手になりたい

子ども達に野球を教えたい



新富駅でICカード使えないの？

〇次に新富町を再発見してみました



☆アンケートの感想より

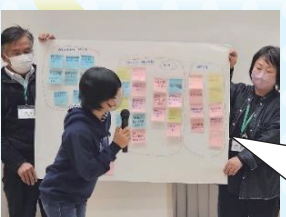
ほかの学校の人や議員さんたちと話せる貴重な体験ができてよかったです。またこのような機会があったら参加したいと思いました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

人柄がよい、住みやすいと思う

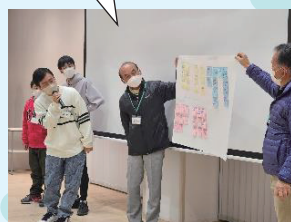
人が多く活気のある町になってほしい

イベントが多くて楽しいよね

〇最後にグループごとに意見発表



スポーツ施設の充実、外から多くの人に来てくれる町



海外と人と交流できる場所ができてほしいな



今回は、中高生14名が参加してくれました。貴重なご意見、誠にありがとうございました。

pick up!

式典の裏側

宮崎県新富町議会だより

1年生は外回りも、2年生は会場内も、学校用務員の坂田さんが手塩にかけて育てた花で明るく華やかに彩るぞ!



いつも元気で明るい姿が印象的だった先輩たち、これまでいろいろな場面で助けてくれた先輩たち、明日で卒業すると思うと寂しいけど、みんなで明るく元気に送り出そう!

発行責任者／新富町議会議長 阿萬誠郎

印刷／藤屋印刷

議会広報特別委員会

委員長 羽田野 治
副委員長 小山 早苗
委員 今村 行信
松浦 美緒
石崎 俊二
捐斐 兼久

連絡先 議会事務局
☎33-6139

3月は中学校と小学校の卒業式がありました。保護者や先生方、地域の人々への感謝の気持ちと同級生との色々な思い出を語った卒業生の答辞は心温まり感動しました。4月には入学式があり、可愛い一年生が夢を膨らませて入ってききました。これから、この子たちが、多くの事を体験し、多くの事を学ぶことが出来る環境を、地域の皆さんとともに、創っていくかなければならないと決意を新たにしましたところ。3月議会度6年度予算を議決しました。新富町が一歩一歩前進するための予算になったと思います。

I V Y

あ
と
が
き